

各 位

上場会社名	株式会社 昴
代表者	代表取締役社長 西村 道子
(コード番号)	9778)
問合せ先責任者	経理部長 岩下 敏明
(TEL)	099-227-9505)

固定資産の減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成26年2月期決算において、下記のとおり特別損失として固定資産の減損損失を計上する見込みとなりました。これに伴い、平成25年10月2日に修正公表しました平成26年2月期(平成25年3月1日～平成26年2月28日)の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,640	227	239	131	21.01
今回修正予想(B)	3,580	211	225	8	1.42
増減額(B-A)	△60	△16	△14	△122	
増減率(%)	△1.7	△7.1	△5.9	△93.2	
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	3,668	275	281	△258	△41.21

● 特別損失の発生およびその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として教室を基本単位とし、また遊休資産等については物件単位毎にグルーピングしております。
このたび、将来キャッシュ・フローの見積りにおいて、一部の教室において地価の下落及び生徒数が前年を下回ったことにより営業活動による損益が継続してマイナスとなる見込みとなったことにより土地・建物等について、130百万円の減損損失を特別損失として計上する見込みであります。

修正の理由

売上高におきましては、小学部の生徒数は堅調に推移したものの、中学部及び高等部並びに個別指導部において、新規入学者数が予想数値に未達となったことにより、60百万円減の3,580百万円となる見込みとなりました。
営業利益におきましては、売上高の減少の影響により、人件費をはじめ、全体的な経費削減で補いきれず、16百万円減の211百万円となる見込みとなりました。
経常利益におきましては、同様の理由により14百万円減の225百万円となる見込みとなりました。
また、前述のとおり固定資産の減損に伴う特別損失130百万円を計上するため、当期純利益は前回予想を122百万円減の8百万円となる見込みであります。

なお、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。

(注)上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上